

令和5年度 事業報告

令和5年度は、前年度に準備を行い本年度から取り組むこととした中期目標・中期計画に基づき、①サービスの質の向上、②財政健全化、③人材の確保・育成を柱とする各事項に対し、本部と各施設が達成度等について情報を共有しながら事業を進めた。

また、①東日暮里サービスセンター（通所介護・認知症通所介護）、②三日小学童クラブ、③居宅介護支援事業所長沼については、令和5年度末をもって事業が終了することとなった。

東日暮里サービスセンターと三日小学童クラブについては約29年間、居宅介護支援事業所長沼については約24年間にわたり地域貢献に努めてきたが、やむを得ない事情等により残念な結果となった。

高齢者施設の財政健全化については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動収入が目標を下回る結果となってしまったが、支出面での経費節減努力等もあって、前年度に比べ顕著な改善を図ることができた施設もあった。

令和5年度における法人及び施設の運営全般については、上記の1施設2事業の終了を除けば、特に大きな問題等が生じることなく、各種事業は経営理念及び経営方針に則り行われた。

1. 中期目標・中期計画について

令和5年度から実施することとした中期目標・中期計画については、当協会の次の100年を視野に、①園児・利用者サービスの質の向上、②安定した財政基盤の構築、③人材の育成を基本に構築した各施設・事業の具体的な取り組みについて着実に取り組み、その進捗状況を検証し、遂行及び実績を踏まえながら、令和6年度事業計画作成に資することとした。

令和5年11月10日～24日において、常務理事による施設長面談を行い、中期計画達成度、施設運営全般について点検・確認等を行った。

令和6年2月5～20日には、令和5年度補正予算、令和6年度事業計画・予算に係る理事長ヒアリングを行い、中期計画達成度等についても確認を行った。

2. 法人内会議等

(1) 本部幹部会議；原則毎週月曜日午後、41回開催

当該会議においては、法人運営全般、理事会・評議員会、中期目標・中期計画、各施設の事業実施状況、各検討会、財政健全化、感染症予防対策、危

機管理、法令遵守、施設利用者の事故、労働安全衛生、人材確保、虐待、新型コロナウイルス感染症、利用者からの苦情等々を議題とした。

(2) 施設長会議；原則毎月の第一月曜日午後、11 回開催

理事長、常務理事、各施設長、法人本部幹部職員により施設長会議を開催した。

当該会議においては、理事会・評議員会の議案、中期目標・中期計画、各施設の事業実施状況、各検討会の進捗状況、財政健全化、感染症予防対策、危機管理、法令遵守、施設利用者の事故、労働安全衛生、人材確保、虐待、新型コロナウイルス感染症、苦情解決への取り組み等々について議論や報告が行われた。

(3) 事業部会

令和 3 年度後期から新たに施設長会議の下に設けた各事業部会では、理事長・常務理事・本部職員・施設長（施設担当職員）により次のとおり課題の抽出及びその検討等が行われた。

①保育部会（四半期ごと）

7/10、9/4、10/10、1/9 に開催、内容；㊲中期目標・中期計画、㊱定員割れ、㊳虐待、㊴物価高騰、㊵採用・人事異動等、㊶新型コロナウイルス感染症、㊷保育事故等について、各施設の現状や課題等について検討を行った。

②母子・学童部会（四半期ごと）

6/5、9/19、11/6、3/4 に開催、内容；㊲中期目標・中期計画、㊱定員割れ、㊳物価高騰、㊴採用・人事異動等について、各施設の現状や課題等について検討を行った。

③高齢者事業部会—特養部会及び通所部会

特養部会及び通所部会は毎月開催した。内容；事業及び収支健全化への進捗管理を踏まえて、㊲介護報酬の現況と分析、㊱加算内容の現況と分析、㊳損益分岐点の分析、㊴人件費の現況、㊵人員配置体制の分析、㊶人材確保、㊷物価高騰、㊸支出項目の分析等を行い、各施設の現状把握及び改善等の取り組みを行った。

④高齢者事業部会—地域包括・訪問介護・居宅介護支援・シルバーピア部会（四半期ごと）

8/21、11/27、2/26 に開催した。内容；㊲介護報酬の現況と分析、㊱加算内容の現況と分析、㊳人材確保、㊴行政の動向、㊵PR 等、各施設の現状や課題等について検討を行った。

(4) プロジェクトチーム

①人材確保プロジェクトチーム（8/4、9/22、9/29、10/19、12/5、1/6、3/6

開催)

構成；常務理事、王子園長、浮間ハイマート施設長、長寿園施設長、さくら荘副施設長、本部職員

内容；①人材確保のための PR（一般事業主行動計画、安全衛生方針、TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言、SDGs 等）、②職務職階・人材育成・研修体系の構築のための標準職務表作成に着手した。令和 6 年度からは、保育園・母子生活支援施設・高齢者施設から各 2～3 名の委員を加え、標準職務表を整理することとした。

②長沼事業検証プロジェクトチーム（4/17、5/22、6/26、7/18、10/23、12/11、1/31、3/25 開催）

構成；理事長、常務理事、本部職員、サービスセンター長沼施設長等

内容；㊲小規模多機能居宅介護事業所の経営、㊱八王子市の動き、㊵令和 7 年度末（指定管理期間終了）の通所介護事業廃止、㊴通所介護の存続及び新規事業について課題の抽出及び検討等を行った。

③王子改築プロジェクトチーム（7/27、9/28、2/26 開催）

構成；常務理事、王子隣保館保育園園長・主任、本部職員等

内容；㊲園児数の動向・資金調達、㊱仮設園舎必要性の有無等について検討を行った。現敷地内での仮設園舎設置は不可と判断し、近隣に仮設園舎設置を確保する必要を北区に相談し共に進めていくことを確認した。

なお、本部機能改革 PT については、上記プロジェクトチームの運営等に傾注したため、令和 5 年度については開催を見送ることとなった。

3. 施設・事業の終了について

(1) 東日暮里サービスセンター（荒川区から平成 6 年 10 月より受託）については、令和 6 年 4 月以降の指定管理継続のため、荒川区の指定管理者候補者の公募に応募したが、他法人（社会福祉法人奉優会）が次期指定管理者として選定された。

選定に至らなかった理由として、サービスの質については問題はなかったが、数年にわたる赤字状況により他法人が選定されたとのことであった。

事業引継ぎのため次期指定管理者職員が令和 5 年 10 月から当該センターにおいて利用者処遇に参加しスムーズな移行に努めた。

当該施設職員については、協会内の異動のほか、多くの職員が次期指定管理者のもと引き続き同センターで従事することとなった。

また、当該施設職員からは、これまでの近隣居宅介護支援事業所等の関係

構築を基に、荒川区内で入浴主体のデイサービス（午前・午後の短時間サービス）を新たに事業展開できないかとの提案があった、需要、開設経費、運転資金、開始事業年度からの収支状況等について検討し、当該事業開始については困難と判断した。

- (2) 三日小学童クラブ（荒川区から平成 7 年 4 月より受託）については、令和 5 年度末で委託期間（平成 31 年から令和 5 年度末の 5 年間）が満了し、令和 6 年度からの事業者はプロポーザルで新たに決定されることとなり、当協会としては令和 5 年度末で事業が終了することとなった。

「令和 5 年度荒川区学童クラブ及び放課後子ども教室運営事業者等実績審査委員会」における評価結果において、事業運営は不適である、との審査結果により、荒川区では現委託契約を満了し新たに事業者を選定することとされた。

事業引継ぎのため次期受託事業者（マミーインターナショナル株）職員が令和 6 年 1 月から当該クラブにおいて児童支援に参加しスムーズな移行に努めた。

当該施設職員については、協会内の異動のほか、多くの職員が次期受託事業者のもと引き続き同クラブで従事することとなった。

- (3) 居宅介護支援事業所長沼（平成 12 年 4 月より事業開始、直営）については、事業単独では赤字の状態にあり、特定事業所加算取得により黒字化への展開を進めるため、令和 5 年 4 月以降介護支援専門員をハローワーク等に求人票を提出し募集したが、全く応募がない状態となっていた中、当該事業所職員 3 名のうち 2 名が健康上の理由及び家庭の事情から令和 5 年度末に退職することとなった。残る 1 名での当面の事業継続では、赤字が累積することとなり、現在のプラン作成契約を一度他事業所に譲ってしまうと、職員補充ができたとしても当分の間は赤字が拡大することになってしまうため、令和 5 年度末をもって事業が終了することとなった。残る 1 名の介護支援専門員については、サービスセンター長沼内の部署異動予定となった。

4. 新型コロナウイルス感染症等

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが令和 5 年 5 月 8 日から 5 類感染症に変更されインフルエンザ等と同様の取扱いとなったが、各施設においては、引き続き感染予防対策を徹底し、職員は業務中のマスク着用を当分の間継続することとした。

しかしながら、以下 (1) ～ (6) の施設において集団感染等が発生し、施設はその対応に努めた。

- (1) 王子隣保館保育園では、1 月 22 日から 2 月 5 日にかけて、①園児計 6 名

- (0歳児3名、1歳児1名、3歳児1名、4歳児1名)、職員4名が新型コロナウイルス感染症に感染、②園児計15名(1歳児1名、2歳児2名、3歳児1名、4歳児2名、5歳児9名)、職員3名がインフルエンザA型に感染した。
- (2) 尾久隣保館保育園では、1月26日から2月7日にかけて、①園児計9名(1歳児7名、2歳児1名、5歳児1名)、職員1名が新型コロナウイルス感染症に感染、②園児計6名(3歳児1名、4歳児4名、5歳児1名)がインフルエンザB型に感染した。
- (3) 八王子隣保館保育園では、3月4日から3月29日にかけて、①園児計8名(0歳児2名、1歳児1名、3歳児3名、5歳児2名)が新型コロナウイルス感染症に感染、②園児計14名(1歳児1名、2歳児3名、3歳児2名、4歳児3名、5歳児5名)、職員1名がインフルエンザB型に感染した。3月25日頃から発熱による園児の欠席が増え、28日には家庭保育の協力もあり出席園児37名に対し欠席が47名となった。
- (4) 汐入とちのき保育園では、3月2日から3月19日にかけて、①園児計7名(1歳児5名、2歳児1名、5歳児1名)、職員7名が新型コロナウイルス感染症に感染した。
- (5) 長寿園においては、7月27日から8月15日にかけて2階利用者5名、3階利用者1名、職員5名が新型コロナウイルス感染症に感染した。
また、12月3日から12月8日にかけて、利用者17名(2階16名、3階1名)、職員6名(全て2階配属)に下痢・嘔吐の症状が発生、うち利用者1名はノロウイルス感染が認められた。
- (6) 赤羽北さくら荘においては、デイサービスで8月22日から8月28日にかけて利用者6名、職員3名が新型コロナウイルス感染症に感染した。
また、特養では12月3日から12月13日にかけて利用者計16名(5階12名、2階4名)、職員2名が新型コロナウイルス感染症に感染した。
さらに、特養では3月4日から3月22日にかけて利用者計11名(4階5名、3階6名)、職員4名が新型コロナウイルス感染症に感染した。

5. 会計監査人の選任

平成30年度から会計監査人として契約してきた清泉監査法人については、同監査法人より(社会福祉法人以外の非営利法人の監査に特化したいため)令和4年度決算期限りとし、代わりに(社会福祉法人の監査に特化している)明神監査法人を推薦する旨の相談があり、順次手続きを進め、本年度から明神監査法人を会計監査人とする契約を締結した。(理事会承認;6月15日、評議員会承認;6月30日、契約締結日;令和5年8月10日)

6. 規程の改正等

(1) 経理規程の改正

「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の取扱いについての一部改正について」が、令和2年9月11日に厚生労働省より発出（令和3年4月1日適用）、計算書類に必要とされた注記の整理が追加されたこと等により、経理規程の改正を行った。（理事会承認6月15日、令和5年4月1日適用）

(2) 文書処理及び公印管理規程の改正

上記(1)経理規程の改正の中で保存文書の整理等が行われたことから、保存文書の目録及びその保存期間について当該事項の改正を行った。（理事会承認6月15日、令和5年4月1日適用）

(3) 職員給与規程及びパートタイマー就業規則の改正

月60時間を超える時間外労働については割増賃金率が50%に引き上げられたことによる当該事項の改正を行った。（理事会承認10月31日、令和5年4月1日適用）

(4) 職員就業規則の改正

処遇改善加算によるキャリアアップ制度導入等により、昇任及び降任について規定する必要が生じていたため、当該事項の改正を行った。（理事会承認10月31日、令和5年10月31日施行）

(5) 赤羽北さくら荘認知症型通所介護運営規程の廃止及び組織規程等の改正

赤羽北さくら荘認知症対応型通所介護の事業廃止（令和5年7月31日付、令和5年3月16日開催令和4年度第4回理事会承認）により、同認知症対応型通所介護運営規程の廃止及び組織規程の改正並びに定員増となった同通所介護運営規程の改正を行った。（理事会承認；10月31日、同認知症対応型通所介護運営規程の廃止は令和5年7月31日適用、組織規程及び同通所介護運営規程の改正については、令和5年8月1日施行）

(6) 長寿園及び赤羽北さくら荘（特養）の運営規程の改正

長寿園においては、大規模改修工事（令和2年4月～3年9月）及び新型コロナウイルス感染拡大防止等により、ショートステイ事業が休止状態となっていたため、再開にあたり運営規程料金表に記載漏れがありこれを訂正するため、赤羽北さくら荘（特養）においては、ショートステイに係る新たな加算取得のため運営規程料金表を改正する必要があるため、各運営規程の改正を行った。（理事会承認；10月31日、長寿園については令和5年10月31日施行、赤羽北さくら荘については令和5年7月1日適用）

(7) 保育所宿舍貸与事業要綱の改正について

保育士宿舍借り上げ支援事業として区市より補助を受け行っている当該

宿舍貸与事業において、一部で補助対象期間が5年までと定められていたが、10年まで引き上げられたことにより当該事項の改正を行った。（理事会承認；10月31日、令和6年4月1日施行）

(8) 経理規程及び組織規程等の改正

①東日暮里サービスセンター（通所介護・認知症通所介護）、②居宅介護支援事業所長沼、③三日小学童クラブについては、令和5年度末をもって事業が終了する（令和5年度第3回理事会承認：令和5年10月31日）こととなり、当該事項に係る経理規程、組織規程、職員給与規程、個人情報保護規程、高齢者施設等処遇改善手当支給要綱について改正を行った。（理事会承認；10月31日、令和6年4月1日施行）

(9) 東日暮里サービスセンター及び居宅介護支援事業所長沼の運営規程の廃止

①東日暮里サービスセンター（通所介護・認知症通所介護）、②居宅介護支援事業所長沼については、令和5年度末をもって事業が終了（令和5年度第3回理事会承認：令和5年10月31日）することにより、各運営規程を廃止することとした。（理事会承認3月15日、令和6年3月31日廃止）

7. 高齢者施設の利用状況等

平成24年以降収支状況が厳しくなっている高齢者施設は、上述の高齢者事業部会（特養部会及び通所部会）等において、稼働率の向上、新たな加算取得、空床期間の短縮、デイサービスでの営業活動による登録者増、職員体制のスリム化、事務費の削減等について検討の上改善に努めた。収入面では新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標（特養約95%以上、デイ約80%、認デイ約60%）を達成することはできなかった。

しかし、令和6年度当初予算編成においては、事業活動及び施設整備の収支差額合計で、長寿園で約4百万円、さくら荘で約1百万円のプラス、長沼は概ね収支0円となり、今後を含め改善傾向となっている。引き続き部会で進捗管理等を行いさらに改善を進めることとしている。

長寿園（定員80）の稼働率等について

	平成			令和				
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
月初登録者数の平均（人）	78.8	76.0	78.7	78.8	73.7	71.0	74.3	76.6
稼働率（%）	90.5	90.2	95.0	95.4	87.3	85.7	87.1	91.1

※稼働率については、定員に対する入院者を含まない利用者数の割合

赤羽北さくら荘（定員148）の稼働率等について

	平成			令和				
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
月初登録者数の平均（人）	100.6	121.0	141.8	141.3	141.1	144.4	145.0	
稼働率（％）	69.3	82.7	93.6	92.5	92.2	95.4	94.5	

※稼働率については、定員に対する入院者を含まない利用者数の割合

デイサービスの稼働率（定員に対する利用者数の割合）について

	平成			令和				
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
さくら荘デイ	83.7	82.0	81.6	68.2	70.0	71.4	66.0	70.6
〃 認デイ	47.5	31.5	32.5	35.3	31.8	39.3	33.3	27.7
東日暮里デイ	62.6	59.1	58.8	55.7	58.8	59.2	69.1	70.2
〃 認デイ	23.8	31.7	56.4	58.9	47.1	52.5	48.7	43.1
長沼デイ	72.3	75.5	68.0	68.7	68.7	74.7	78.3	72.4
〃 認デイ	46.6	49.5	44.1	49.1	47.4	32.7	35.2	-

※1 サービスセンター長沼認知症型デイについては令和5年3月31日付廃止

※2 赤羽北さくら荘認知症型デイについては令和5年7月31日付廃止

8. 高齢者施設での事業検証

令和3年度に長寿園において職員による高齢者虐待不祥事案が発覚したことで、高齢者介護に関する専門家（臼井正樹氏；現介護福祉士試験委員長・神奈川県立保健福祉大学名誉教授と峯尾武巳氏；現介護福祉士試験副委員長・元神奈川県立保健福祉大学教授）に客観的な視点に基づく事業検証を依頼し、令和4年1月に両専門家からの報告 {㊦人権研修の必要性、㊧介護技術、介護能力の向上への研修、㊨サーバント・リーダーシップ（強いリーダーシップで組織を導くのではなく、リーダーは組織のメンバーと時間をかけて丁寧に、よい関係性を構築・維持しながら組織の目指す方向性を形成していくこと）の活用、㊩風通しの良い運営、㊪介護の基本・身体ケアモデルから認知症ケアモデルへ、㊫ユニットケアの目的・集団ケアから個別ケアへ、個別性の理解、㊬法人本部の役割と各事業所の関係の再構築等} があった。

この報告を踏まえ、各施設及び本部で改善を進め、令和4年度から進行管

理等を行いながら改善を進め、令和5年10月24日に会議を開催し、長寿園施設長及び赤羽北さくら荘施設長から改善内容等を両専門家に報告、両専門家からは一定の評価を受けるとともに改善をさらに進めることとし、当事業検証委員会は、10月でひとまず閉じることとし、引き続き指導等を仰ぐことについてはあらためて両専門家に相談することとした。

9. 職員意向調書について

7月に非常勤職員を含めた全職員に「職員意向調書」への記入・提出を実施した。内容は現業務に対する満足度、異動希望、経営に対するアイデア等について意見等を聞くことを目的としたものであった。

610名の回答があり、業務への満足度について以下のとおりであった。

(単位：%)

＼	保育園	母子学童	高齢者施設	計
満足	34.8	64.6	28.4	34.1
普通	50.5	27.1	57.1	51.8
満足していない	12.5	2.1	13.1	12.0
無記入	2.2	6.2	1.4	2.1

10. コンプライアンスに係る検証

協会が法令並びに定款及び規則規程を遵守していることを確認・検証するため、各施設は10月1日付で「発令整理表」を作成・点検を行い、法令・規程等の適合及び適切な運用に努めることとした。

検証の結果、発令等の不備があった施設においては、速やかに発令等を行うとともに、指導検査等への対応に資することとした。

11. 法人主催職員研修会

職員の資質向上に資するため、法人本部による新規採用職員研修、中堅職員研修及び管理職研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により以下の開催に留まった。各施設においては適宜施設内研修及びWEB研修等を行った。

(1) 管理職研修会

①日時；令和5年4月28日(金) 13時30分～16時45分

②場所；赤羽北さくら荘多目的室

③内容；「サーバントリーダーシップについて」

講師 松田 愛美 氏

(神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科助教)

④参加者；41名(園長・施設長、主任等)

(2) 保育園経理研修会

本部職員が7保育園を訪問し、園児減少への対応等について、施設職員全体で取り組む必要性等を共有することを目的に「保育園経理研修」として実施した。

①日時；第1回は、令和5年8月8日から8月29日まで、第2回は、12月1日から12月25日まで いずれも13時30分～17時00分

②場所；各保育園

③内容；園児減少への対応・収支健全化・ICT化等について

④参加者；延約250名（保育園園長・主任・職員）

(3) 新たに本部と各保育園が調整を図り、協会内保育園の交流研修を年2回（26名）実施した。

12. 労働安全衛生

衛生委員会・職員会議等において労働災害の予防について議題とする等労働安全衛生の強化に取り組むこととしており、本年度の発生は9件であった。

労災発生状況（件数）

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
休業4日以上	1	1	2	1	3	2	4	4	1	2	
休業1～3日			3				5				
休業なし労災	4	7	11	9	7	11	12	12	15	17	9
計	5	8	16	10	10	13	21	16	16	19	9

災害発生原因の分布（平成25年度～令和5年度）については、①ぶつける・当たる28%、②転倒24%、③自転車16%、④腰痛13%、⑤その他19%となっている。

また、メンタルヘルス不調を未然に防止する「一次予防」を目的とし、全施設でストレスチェックを実施（524名、常勤387名、非常勤137名）した。高ストレス者と選定され医師の面接指導を受けた職員は0名であった。

ストレスチェック実施状況（単位：人）

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
受検者数	344	546	550	562	562	528	538	524
内訳	常勤	320	379	392	388	393	378	387
	非常勤	24	167	158	174	169	150	137
高ストレス者	59	78	87	84	66	94	81	91
医師の面接指導	3	1	3	1	2	2	2	

13. 苦情解決への取り組み

利用者サービスの向上に資するため、利用者からの苦情等は施設内だけでなく法人本部や第三者委員においても聴取することとなっている。令和5年度においては本部または第三者委員が受け付けた案件は0件であった。

苦情解決統括会議（令和6年3月5日開催）において、職員が利用者等から受けた苦情等及び事故については第三者委員に報告を行った。

なお、苦情内容の主なものについては、協会ホームページに掲載することとしている。

14. 永年勤続表彰

職員永年勤続表彰は、30年勤続者2名、20年勤続者4名、10年勤続者7名について令和6年2月11日付で実施した。

15. 指定管理施設の指定期間等

汐入とちのき保育園（荒川区）、上十条南保育園（北区）は、令和6年度から新たな指定管理期間となり事業を継続することとなった。

東日暮里サービスセンター及び三日小学童クラブ（荒川区）については、令和5年度末で事業終了となった。

施設名	現指定期間	次期指定期間
1 汐入とちのき保育園	R6.4.1 ~ R11.3.31	R11.4.1 ~
2 上十条南保育園	R6.4.1 ~ R11.3.31	R11.4.1 ~
3 浮間ハイマート	R4.4.1 ~ R9.3.31	R9.4.1 ~
4 板橋区立母子生活支援施設	R3.4.1 ~ R8.3.31	R8.4.1 ~
5 東日暮里サービスセンター	H31.4.1 ~ R6.3.31	R6.3.31 指定管理終了
6 サービスセンター長沼	R3.4.1 ~ R8.3.31	R9.4.1 ~

三日小学童クラブについては5年間の業務委託契約	H31.4.1 ~ R6.3.31	R6.3.31 受託終了
-------------------------	-------------------	--------------

※ サービスセンター長沼通所介護については令和7年度末で指定管理が終結、八王子市は、令和8年度に同スペースを小規模多機能介護支援事業所とする改修工事を行い、令和9年度より小規模多機能介護支援事業所の指定管理者を新たに公募する予定としている。

16. 東京都福祉サービス第三者評価の受審

各施設においては、利用者（保護者）への施設サービス内容の情報提供及びサービスの質の向上に資するため、東京都福祉サービス第三者評価の受審を行っている。本年度は以下の施設が第三者評価を受審し一定の評価を得た。

施設名	受審内容	期間
王子隣保館保育園	利用者調査及び事業評価	10 ～ 12 月
ハイツ尾竹	利用者調査のみ	12 ～ 12 月
長寿園（特養）	利用者調査及び事業評価	7 ～ 3 月
赤羽北さくら荘（特養）	利用者調査及び事業評価	8 ～ 1 月

17. 指導検査等

令和5年度においては、以下の延12施設・事業が各区市及び東京都の指導検査等を受け文書による指摘はなかった。

また、検査日当日にあった口頭による指導については、各施設において速やかに改善を図った。

施設名	検査名等	検査日	実施主体
方南隣保館保育園	実地検査	令和5年5月23日	杉並区
尾久隣保館保育園	指導監査	令和5年11月10日	荒川区
八王子隣保館保育園	指導検査	令和5年11月28日	八王子市
汐入とちのき保育園	指導監査	令和5年11月1日	荒川区
上十条南保育園	モニタリング	令和5年7月20日	北区
ハイツ尾竹	指導監査	令和6年1月11日	荒川区
浮間ハイマート	指定管理者監査	令和5年11月17日	北区
浮間ハイマート	モニタリング	令和5年7月12日	北区
板橋区立母子生活支援施設	指定管理者評価委員会の評価	令和5年7月5日	板橋区
板橋区立母子生活支援施設	指導検査	令和5年11月24日	板橋区
板橋区立母子生活支援施設	モニタリング	令和5年7月12日	板橋区
赤羽北さくら荘訪問介護	運営状況確認書面検査	令和5年6月	東京都

18. 会計監査人による監査等

(1) 監査（清泉監査法人による）

（監査内容） 令和4年度計算関係書類の監査

（監査日） 令和5年6月1日（木）～6月6日（火）土日を除く
法人本部での監査実施

(2) 期中監査（明神監査法人による）

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① 本部・社会福祉事業振興基金 | 10月3日～10月3日 |
| ② 王子隣保館保育園 | 12月12日～12月13日 |
| ③ 赤羽北さくら荘 | 2月6日～2月8日 |
| ④ 本部・社会福祉事業振興基金 | 3月11日～3月12日 |

19. 監事監査の実施

(監査内容)	令和4年度事業の実施状況及び収支決算の状況
(監査日)	令和5年6月8日(木)
(理事会への報告)	令和5年6月15日(木)
(評議員会への報告)	令和5年6月30日(金)

20. 理事会の開催状況

理事会の開催	議案・報告
第1回 令和5年6月15日	第1号 令和4年度事業報告及び収支決算について 第2号 新役員候補者について 第3号 会計監査人の選任及びその報酬等について 第4号 経理規程等の改正について 第5号 令和5年度定時評議員会の開催について
	業務執行状況報告 (1) 社会福祉充実計画について (2) 中期目標・中期計画について
第2回 令和5年6月30日	第1号 理事長の選定について 第2号 常務理事の選定について
	その他 理事長の代決理事の指名について
第3回 令和5年10月31日	第1号 東日暮里サービスセンターの令和5年度末事業終了について 第2号 サービスセンター長沼ケアマネ事業所の令和5年度末事業終了について 第3号 三日小学童クラブの委託期間満了による令和5年度末事業終了について 第4号 職員就業規則・職員給与規程・パートタイマー就業規則の改正について 第5号 赤羽北さくら荘認知症型通所介護廃止に伴う同運営規程の廃止等について 第6号 長寿園及び赤羽北さくら荘(特養)の運営規程の改正について 第7号 保育所宿舍貸与事業要綱の改正について 第8号 ハイツ尾竹エアコン更新工事に係る入札参加資格要件及び予定価格について 第9号 令和5年度第2回評議員会の開催について
	業務執行状況報告 上半期の業務執行状況について
第4回 令和5年12月26日 (書面開催)	ハイツ尾竹エアコン更新工事に係る工事請負契約の締結について
第5回 令和6年3月15日	第1号 令和5年度収支補正予算について 第2号 令和6年度事業計画及び収支予算について 第3号 令和6年度資金運用計画について

	第4号	定款の変更について
	第5号	経理規程及び組織規程等の改正について
	第6号	東日暮里サービスセンター及び居宅介護支援事業所長沼の運営規程の廃止について
	第7号	苦情解決制度第三者委員の選任について
	第8号	役員賠償責任保険について
	第9号	施設長等の任免について
	第10号	令和5年度第3回評議員会の開催について
	報告事項	(1) サービスセンター長沼廃止後の小規模多機能居宅介護支援事業所プロポーザルについて
		(2) 下半期事業執行状況について

21. 評議員会の開催状況

評議員会の開催	議案・報告	
定時 令和5年6月30日	第1号	令和4年度事業報告及び収支決算について
	第2号	理事・監事の選任について
	第3号	会計監査人の選任について
	業務執行状況報告	(1) 社会福祉充実計画について (2) 中期目標・中期計画について
第2回 令和5年11月28日		サービスセンター長沼ケアマネ事業所の令和5年度末事業終了について
	業務執行状況報告等	(1) 東日暮里サービスセンターの令和5年度末事業終了について (2) 三日小学童クラブの委託期間満了による令和5年度末事業終了について (3) 上半期業務事業執行状況について
第3回 令和6年3月27日	第1号	令和5年度収支補正予算について
	第2号	令和6年度事業計画及び収支予算について
	第3号	定款の変更について
	第4号	苦情解決制度第三者委員の選任について
	報告事項	(1) サービスセンター長沼廃止後の小規模多機能居宅介護支援事業所プロポーザルについて (2) 下半期事業執行状況について

22. 会計監査人の選任

- ① 会計監査人； 明神監査法人
- ② 契約内容； 令和5年度の計算関係書類監査・財産目録に対する意見
- ③ 契約締結日； 令和5年8月10日
- ④ 契約金額； ￥4,800,000-（前年度同額、消費税含まず）

23. 施設・事業・職員

施設種類別の事業の結果は以下のとおりであり、各施設の個別具体的な運営状況については、各施設の事業報告のとおりである。

(1) 保育所

施設利用状況

施設名	認可定員	現員	利用率	備考
王子隣保館保育園	110人	119.0人	108.2%	直営施設
方南隣保館保育園	130人	127.8人	98.3%	//
尾久隣保館保育園	190人	181.8人	95.7%	//
八王子隣保館保育園	80人	82.2人	102.7%	//
汐入とちのき保育園	110人	107.8人	98.0%	指定管理
上十条南保育園	110人	109.0人	99.1%	//
赤羽北のぞみ保育園	100人	92.3人	92.3%	直営施設
合計	830人	819.9人	98.8%	

注：現員は、令和5年度月初在籍者数の平均

(2) 母子生活支援施設

施設利用状況

施設名	定員	利用現員	備考
ハイツ尾竹	20世帯・64人	14.0世帯・30.7人	直営施設
浮間ハイマート	24世帯・72人	10.8世帯・29.7人	指定管理
板橋区立母子生活支援施設	20世帯・60人	13.2世帯・32.4人	//
合計	64世帯・196人	37.9世帯・92.8人	

注：利用現員は、令和5年度平均

(3) 高齢者福祉施設

①特別養護老人ホーム

施設利用状況

施設名	定員	利用現員	備考
長寿園	80人	72.9人	直営施設
同 ショートステイ	2人	0.5人	
赤羽北さくら荘	148人	139.9人	
同 ショートステイ	12人	13.5人	
合計	特養	228人	212.8人
	ショートステイ	14人	14.0人

注：利用現員は、令和5年度平均（入院を除く）

②デイサービス

施設利用状況

施設名	定員	現員	備考
赤羽北さくら荘デイサービスセンター			特別養護老人ホーム 赤羽北さくら荘に併設 (直営)
通所介護	43人	30.4人	
認知症対応型通所介護	12人	3.3人	
東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター			単独施設 (指定管理)
通所介護	40人	28.1人	
認知症対応型通所介護	12人	5.2人	
高齢者在宅サービスセンター長沼			単独施設 (指定管理)
通所介護	35人	31.1人	

注1：現員は令和5年度平均利用者数

注2：赤羽北さくら荘認知症対応型通所介護は令和5年7月31日付廃止、赤羽北さくら荘通所介護の定員については7月31日までは35名、8月1日以降43名

③地域包括支援センター

施設利用概要（受託）

施設名	業務内容	予防プラン	備考
浮間地域包括支援センター	担当地域内居住者で在宅で介護を必要とする者又はその家族等に対し各種相談に対応、諸機関とのネットワークづくり、権利擁護等	3,003件	
赤羽北地域包括支援センター		2,028件	
地域包括支援センター長沼		3,924件	サービスセンター長沼内に併設

注：予防プランは令和5年度プラン作成延数

④居宅介護支援

施設状況（直営）

施設名	プラン作成件数
赤羽北さくら荘ケアプランセンター	1,780件
指定居宅介護支援事業所 長沼	1,088件

注：プラン作成件数は令和5年度プラン作成延数

⑤訪問介護

利用状況（直営）

施設名	区分	年間延利用者数	年間延サービス回数
赤羽北さくら荘 ヘルパーステーション	要支援	2,710 人	2,710 回
	要介護	5,564 人	5,928 回

⑥シルバーピア生活援助員配置

施設利用状況（受託）

施設名	区分	平均
シルバーピア赤羽北（定員 75 名）	入居者数（月初）	72.4 人

（4）放課後児童健全育成事業

施設利用状況（受託）

施設名	登録定員	利用現員	備 考
三日小学童クラブ	90 人	38.9 人	荒川区立第三日暮里小学校内
にこにこすくーる	—	18.6 人	

注：利用現員は令和 5 年度の平均利用者数

(5) 職員の配置状況（令和6年3月31日現在）

組織名	事業名等 (指)＝指定管理、(委)＝委託	常勤 職員数	非常勤職員数		職員総数		
			実数	常勤換算	実数	常勤換算	
本部事務局	-	5	0	0.0	5	5.0	
保育所	王子隣保館保育園	保育所	28	21	11.7	49	39.7
	方南隣保館保育園	〃	28	13	6.3	41	34.3
	尾久隣保館保育園	〃	36	18	11.8	54	47.8
	八王子隣保館保育園	〃	21	14	8.1	35	29.1
	汐入とちのき保育園	〃 (指)	28	19	7.9	47	35.9
	上十条南保育園	〃 (〃)	26	14	8.9	40	34.9
	赤羽北のぞみ保育園	〃	27	10	4.3	37	31.3
	小計	-	194	109	59.0	303	253.0
母子生活 支援施設	ハイツ尾竹	母子生活支援施設	12	5	2.1	17	14.1
		放課後児童健全育成(学童クラブ)(委)	3	12	5.8	15	8.8
		にこにこスクール(委)					
	浮間ハイマート	母子生活支援施設(指)	8	3	1.8	11	9.8
	カーサはるにれ	〃 (〃)	8	5	3.6	13	11.6
	母子生活支援施設小計(学童・にこスクを除く)		31	25	13.3	56	44.3
高齢者等	長寿園	特養	33	25	12.5	58	45.5
		短期入所生活介護					
	赤羽北さくら荘	特養	71	34	16.9	105	87.9
		短期入所生活介護					
		通所介護					
		地域包括(浮間・赤羽北)(委)					
		訪問介護					
		居宅介護支援					
	シルバーピアLSA(委)						
	東日暮里SC	通所介護(認知症型含む)(指)	7	22	13.2	29	20.2
	SC長沼	通所介護(指)	6	28	15.1	34	21.1
		地域包括支援センター(委)	5	4	2.9	9	7.9
		居宅介護支援	2	1	0.8	3	2.8
小計	-	148	153	85.0	301	233.0	
計	-	378	287	157.3	665	535.3	

- ①常勤職員の平均年齢 41.2歳
- ②常勤職員の平均勤続年数 9.0年
- ③非常勤職員の平均年齢 53.0歳
- ④非常勤職員の平均勤続年数 8.1年

(6) 常勤職員の採用・退職状況

①採用

	保育所	母子施設	高齢者施設等	計
5年度採用数	11	3	6	20
うち新規学卒	6	2	1	9
平均年齢	26.1	23.7	38.7	29.5

②過去5年間の採用

		保育所	母子施設	高齢者施設等	計
4年度	採用数	23	1	12	36
	うち新規学卒	9	0	3	12
	平均年齢	31.1	37.0	33.9	32.2
3年度	採用数	17	4	13	34
	うち新規学卒	4	0	3	7
	平均年齢	32.1	43.3	35.2	33.9
2年度	採用数	21	8	13	42
	うち新規学卒	6	1	0	7
	平均年齢	32.5	44.0	43.6	38.1
元年度	採用数	31	3	23	57
	うち新規学卒	12	0	1	13
	平均年齢	30.7	26.7	34.1	31.9
30年度	採用数	34	3	22	59
	うち新規学卒	18	0	1	19
	平均年齢	29.3	39.7	39.0	33.4

③退職

	保育所	母子施設	高齢者施設等	計
5年度退職数	15	3	28	46
平均勤続年数	6.5	1.3	5.4	5.5
平均年齢	38.7	42.0	44.3	42.3
離職率 (%)	7.7	9.1	17.0	11.7

(「離職率 (%)」 = 「当年度内の離職者数 ÷ 当年度 4 月 1 日在籍者数 × 100」)

(定年退職者 2 名、令和 5 年度末事業終了による退職者①東日暮里サービスセンター 6 名、②三日小学童クラブ 1 名、③居宅介護支援事業所長沼 1 名を含む)

④過去 5 年間の退職

		保育所	母子施設	高齢者施設等	計
4 年 度	退職数	14	1	19	34
	平均勤続年数	8.9	10.0	3.8	7.7
	平均年齢	38.4	55.0	44.2	43.4
	離職率 (%)	7.1	3.4	10.6	8.4
(定年退職者2名含む)					
3 年 度	退職数	20	6	16	42
	平均勤続年数	5.5	3.7	6.2	5.5
	平均年齢	39.9	34.8	45.6	37.4
	離職率 (%)	10.5	20.0	8.7	10.4
(定年退職者なし)					
2 年 度	退職数	21	5	8	34
	平均勤続年数	5.4	3.0	7.4	5.5
	平均年齢	32.6	52.4	40.5	37.4
	離職率 (%)	10.8	17.9	4.5	8.5
(定年退職者なし)					
元 年 度	退職数	24	2	21	47
	平均勤続年数	7.6	4.5	6.2	6.8
	平均年齢	35.2	62.5	49.7	42.8
	離職率 (%)	12.2	6.9	11.7	11.6
(定年退職者7名を含む)					
30 年 度	退職数	31	3	20	54
	平均勤続年数	5.3	3.3	5.1	5.1
	平均年齢	29.8	56.3	46.5	37.4
	離職率 (%)	15.5	11.5	11.8	13.5
(定年退職者なし)					

(「離職率 (%)」 = 「当年度内の離職者数 ÷ 当年度 4 月 1 日在籍者数 × 100」)